



祝150周年 東彼杵町立彼杵小学校 学校だより

校訓：「強く 正しく 朗らかに」

学校教育目標：「ふるさとに愛着を持ち、心豊かにたくましく生きる彼杵っ子」

今年の合い言葉 「もっと！よく学び よく遊べ」

令和5年11月28日

NO. 35

校長 白水 聡

町探検（2年生）

2年生は、11月10日（金）～17日（金）に生活科の学習で彼杵の町探検に行きました。今回探検させていただいたところは、東彼杵中学校・彼杵鯨肉株式会社・彼杵の荘（道の駅）・歴史民俗資料館・町役場・郵便局です。

「道の駅にはお茶がたくさんあってびっくりしました。またこんど行った時も、よく観察してもっと道の駅のことを知りたいです。」「役場の中は、とても広くてみんな一生懸命お仕事をしていることがわかりました。」「車にも郵便局の〒のマークがついていました。私も郵便局で働いてみたいです。」などなど、子供たちは多くの気づきや感想を綴っていました。

ご協力いただいた皆様、どうもありがとうございました！



彼杵の町の人たちの仕事や努力にふれることで、将来の「なりたい自分」も少しずつ心に描かれるものと思います。ふるさと教育を進める上でも大切な学びです。ご家庭でも、ぜひ休日等を利用して、町探検の続きに出かけられてはいかがでしょうか？新しい発見があるかも・・・？ですよ。

おくんちのこと



11月21日、長崎市から山〇〇様と荒〇〇様にお越しいただき、4年生の社会科の学習の講師を行っていただきました。左の写真のように、次々と出される子供たちの質問に、熱く答えておられました。お二人は、長崎くんちに長年携わっておられ、山〇さんは社会科の教科書にも取り上げられている方です。NHK放送の解説員もされているそうです。

「奉納の意味は？」「どんな人がくんちに出られるか？」「庭先周りとは？」「くんちはなぜ10月7～9日に行われるのか？」などの問いに、丁寧にわかりやすく答えていただきました。「でもね、本当のところはよくわからないんです。」という内容もありました。1634年にくんちが始まり、その長い歴史の中で人々が工夫を重ね、少しずつ形が変わってきたことを知りました。

最後に一人に一枚、右のように貴重な手ぬぐいをプレゼントしていただきました。大切にさせていただきます。

ふるさと長崎を愛する人の心を肌で感じた時間でした。

来年のおくんちも、必ず見に行きたいと思います！

